

リフレッシュ理科教室実施報告書 (2/2) (オンライン実施形式)

下記のとおりご報告いたします。

事業名：リフレッシュ理科教室 — 身の回りの不思議を発見しよう —

開催日： 2021年 12月1日から 2022年 11月30日まで

開催場所（同じ場所で複数回開催する場合は、日付も複数日ご記入ください）：
北陸・信越支部サイト等にて、オンデマンド配信する。

参加者人数（スタッフ以外の参加者を記述してください）：合計 _____ 名

内訳 ① 児童・生徒： _____ 名

② 保護者・一般： _____ 名

③ 教諭等： _____ 名

下記情報がお分かりになる場合は、実施形態に応じて適宜ご教示ください。

PV数（オンデマンドの場合など）：合計 _____ 回， 送付キット数：合計 _____ 個，

再生回数（YouTube 動画等の場合）：合計 _____ 回， チャンネル登録者数：合計 _____ 人，

特記事項（委員会での検討や本部への報告書作成のため、各会場の特徴や工夫していることなどについてご記入下さい。）

現在、新型コロナウイルスの影響により科学館などでの科学イベントなどの開催が難しい状況が続いている中、リフレッシュ理科教室では、昨年度から科学に興味のある児童が大人数を避けながら理科実験を楽しめるように動画づくりが推奨されるようになった。北陸・信越支部福井地区では昨年度、「わくわく！かがくの森」シリーズとして2本の動画を作成した。本年度もこのシリーズで引き続き、磁石の実験を題材として動画作成をおこなった。

対象視聴者として小学校高学年以上を想定したため、飽きずに短時間で視聴可能なような10分程度の動画作りを目指した。飽きない工夫として、図1のように博士などのキャラクターがストーリーを展開すること、図2のように実験結果の予想を選択肢で示し、視聴者参加型の動画とすることを考慮した構成とした。

動画1本目は「磁石にくっつくもの」というテーマで、金属がすべて磁石にくっつくわけではないことと、磁石にくっつくものはくっつかないもので被覆されていても磁石にくっつくことを伝える動画を作成した。

2本目の動画は「N極とS極」というテーマで、前半は磁石の歴史をなぞるように磁石を水に浮かべるとN極が北を向くという性質を示した後、伏角の存在を示すことで地球が磁石のようにふるまっているということを伝えた。後半は磁石を真ん中で切断するとN極とS極に分かれるのではなく断面がS極・N極になることを実験で確かめる実験を行い、磁石には常にN極とS極があることを伝えた。



図1 キャラクター紹介

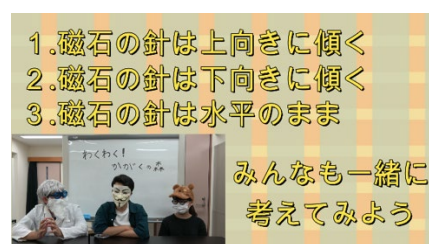


図2 選択肢提示の場面